

第 10 回リフレクション会議について(令和 7 年 2 月 5 日)

講師

- 一般社団法人 School Transformation Networking 代表理事 山口 裕也 先生

ゲスト

- 生駒市教育委員会事務局教育指導課 教育政策室主幹 兼 教育総務課主幹 杉山 史哲 様

協議内容

- 令和 7 年度に向けた研究の方向性について

内容

第 10 回のリフレクション会議では、令和 7 年度に向けた研究の方向性について協議しました。今回のリフレクション会議には、生駒市教育委員会事務局 教育指導課 教育政策室 主幹 兼 教育総務課 主幹の杉山史哲様にもゲストとして参加いただき、授業改善に向けた新たな取り組みについても貴重な視点を提供いただきました。

特に令和 7 年度については、特別活動や総合的な学習の時間を見直す必要性について議論されました。

特別活動や総合的な学習の時間を通じて、失敗から学ぶことや実社会の課題解決を目指す活動を増やす重要性が確認されました。

また、本年度研究が進んだ自由進度学習を振り返りながら、子どもたちが学習方法を選択し、自ら学習を進めることができる環境作りについても継続して大切にしていけることが確認されました。引き続き、「自己選択」「自己決定」の機会を増やし、子どもの自己調整力を育んでいきます。

ゲストの杉山様からは、生駒市教育委員会が実施している「伴走型研修」の取り組みについても説明がありました。この研修は、授業改善を目指す全国の先生方を対象に、オンラインで学び合いながら、実践に対するアドバイスや支援を行なうものです。

子ども一人ひとりに合わせた学びの選択や探究的な学びを重視し、個別最適な学びの推進を目指しています。専門家による助言と教師同士の学び合いが重要な要素として挙げられ、今後の取り組みへのヒントとなりました。